

広報ふたば

【表紙写真】 14年ぶりの開催
「第58回双葉町町民体育祭」



町民の皆さまへ

11月に入り、日中は穏やかな日差しが心地よい小春日和の日もありますが、朝晩の冷え込みは秋の深まりを実感します。

9月21日、能登半島地震からの復興途上にあつた奥能登地方で線状降水帯が発生し、河川の氾濫や土砂崩れなど、甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、災害時に、自分や家族の命を守る行動をとることを最優先として常日頃から備えていただきますようお願いいたします。

9月28日・29日、新成人チャレンジ事業「ふるさとを、見よう」プロジェクトに18歳から20歳の町民20人が参加されました。震災当時は小学校入学前のため、町内で過ごした時間が少ない年代ですが、同世代の方たちとの交流を通じて、思い出を共有できたのではないかと思います。今回の取り組みが皆さんにとって、町との関わりを持つきっかけとなるとともに、「ふるさと双葉町」の再生の力になっていただけることを期待しています。

9月28日、福島県煙火協会様主催の「双葉花火」が開催されました。会場には約4500人の観客が訪

れ、花火が打ち上がるたびに大きな歓声が上がりました。

10月5日・6日、さまざまなジャンルの「うまいもん」を集めた「ふたばフードフェス」を開催するとともに、解体を予定しているふたば幼稚園旧園舎と双葉中学校の旧校舎の見学会を実施しました。

今回のイベントは、双葉町初のイベントでしたが、町民の方々はもとより、県内外から多くの方にご来場いただき、双葉町の現状を知っていただく良いきっかけとなれば幸いです。

10月5日、武藤容治経済産業大臣が来町され、伊藤議長とともに面会しました。町の復興は道半ばであり、今後も長期間にわたる政府の支援が必要であることを強く要望しました。

10月8日から24日まで、県内外11会場で町政懇談会を開催いたしました。各会場で皆さまからいただいた貴重なご意見やご要望を、今後のまちづくりに反映させていきたいと考えております。

暦の上では、間もなく冬を迎えます。インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症に十分留意されますようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

武藤容治経済産業大臣来町

10月5日、武藤容治経済産業大臣が就任のあいさつのため来町され、双葉町産業交流センターにおいて伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長と面会し、意見交換が行われました。

伊澤町長は大臣就任のお祝いと、これまでの支援に対し感謝を述べるとともに、町の復興・再生に向け以下の3点について強く要望しました。

- ・ 特定帰還居住区域の除染とインフラ整備を着実に実施し、町民が安心して帰還できるよう速やかな対応をすること
- ・ 第2期復興・創生期間以降も予算を確保し、長期避難を強いられている双葉町の復興を果たすための支援を継続して行うこと
- ・ 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業を安全かつ着実に実施するための監督・指導を行うこと



意見交換の様子



武藤大臣は産業交流センターで買い物もされました

双葉町学校設置検討委員会

9月24日、双葉町いわき支所において令和6年度第3回双葉町学校設置検討委員会が開催されました。

7人の委員と木村直人アドバイザー（F-REI）、高瀬智美アドバイザー（文部科学省）が出席し、事務局が示した学校基本計画の素案をもとに、旧双葉中学校の敷地に建設を予定している教育施設（認定こども園と義務教育学校、学童保育を含む）の校舎や体育館の構成について議論しました。委員からは、町民も利用できる学校図書館や体育館、子どもたちと町民が交流できるスペースの使い方などについて意見が出されました。



町内の環境美化活動

10月20日、JR双葉駅周辺において環境美化活動を行いました。町内に居住する町民をはじめ長塚一行政区の方々も避難先から参加したほか、町職員も含めた76人が2グループに分かれて、JR双葉駅東側ロータリーから青年婦人会館までのエリアの除草やゴミ拾いなどをしました。

伊澤町長は、開会式であいさつし参加者とともに清掃活動を行いました。

町では、震災前に行われていたクリーンアップ作戦に代わる取り組みとして、今後は町内の事業所で働く皆さまにもご協力をいただきながら、町全体で町内の環境美化に取り組んでまいります。



令和6年度

双葉町住民意向調査



“町民一人一人の復興”と“町の復興”を進めるための大切な調査です

今後のまちづくりに向けて町民の皆さまのお考えを把握するため、今年度も復興庁、福島県と共同で住民意向調査を実施します。

この調査は、町民の皆さまの今後の生活設計や帰還の意思についてご意見・ご要望などをいただき、生活支援策やまちづくりの方向性を検討するための重要な調査です。多くの皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」、「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。

対象者

震災時に双葉町に住民登録があった全世帯の代表者

- ただし、分散避難されている場合はそれぞれの避難先へ調査票を送付しますので、避難先の代表者ごとに回答をお願いします。

調査方法

専用の封筒で調査票を送付します

- 記入後、同封の返信用封筒へ調査票を封入し、郵便ポストへ投かんしてください。

実施期間

10月28日（月）～11月17日（日）

【問い合わせ先】 復興推進課 復興推進係 ☎ 0240-33-0127

令和5年度

一般会計決算報告

令和5年度の一般会計の決算額は、歳入総額156億5,598万9千円（前年度比15.9%減）、歳出総額138億457万3千円（前年度比16.8%減）となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は18億5,141万6千円となり、翌年度（令和6年度）に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は17億2,210万1千円の黒字となりました。

歳入 156億5,598万9千円（前年度比15.9%減）

【歳入決算の内訳】

（単位：千円・%）

区 分	令和5年度		令和4年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率
自 主 財 源	10,583,404	67.6	12,932,188	69.5	△ 2,348,784	△ 18.2
町 税	1,475,239	9.4	1,325,621	7.1	149,618	11.3
分 担 金 及 び 負 担 金	7	—	8	—	△ 1	△ 12.5
使 用 料 及 び 手 数 料	81,856	0.5	68,156	0.4	13,700	20.1
財 産 収 入	55,102	0.4	46,872	0.3	8,230	17.6
寄 附 金	62,893	0.4	14,831	0.1	48,062	324.1
※1 繰 入 金	6,304,562	40.3	9,725,579	52.2	△ 3,421,017	△ 35.2
繰 越 金	2,020,615	12.9	1,632,734	8.8	387,881	23.8
諸 収 入	583,130	3.7	118,387	0.6	464,743	392.6
依 存 財 源	5,072,585	32.4	5,681,099	30.5	△ 608,514	△ 10.7
地 方 譲 与 税	45,313	0.3	43,379	0.2	1,934	4.5
利 子 割 交 付 金	76	—	93	—	△ 17	△ 18.3
配 当 割 交 付 金	1,002	—	941	—	61	6.5
株式等譲渡所得割交付金	1,067	—	663	—	404	60.9
法 人 事 業 税 交 付 金	12,298	0.1	12,654	0.1	△ 356	△ 2.8
地 方 消 費 税 交 付 金	142,368	0.9	145,265	0.8	△ 2,897	△ 2.0
自動車取得税交付金	498	—	—	—	498	皆増
環 境 性 能 割 交 付 金	3,659	—	2,763	—	896	32.4
地 方 特 例 交 付 金	1,596	—	2,089	—	△ 493	△ 23.6
※2 地 方 交 付 税	2,041,686	13.1	2,049,277	11.0	△ 7,591	△ 0.4
交通安全対策特別交付金	—	—	—	—	—	—
※3 国 庫 支 出 金	1,507,341	9.6	1,848,252	9.9	△ 340,911	△ 18.4
※4 県 支 出 金	1,315,681	8.4	1,575,723	8.5	△ 260,042	△ 16.5
歳 入 合 計	15,655,989	100.0	18,613,287	100.0	△ 2,957,298	△ 15.9

※1 各種基金等から繰り入れたお金 ※2 一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されたお金（東日本大震災復興特別交付税を含む） ※3 特定の目的のために国から交付されたお金 ※4 特定の目的のために県から交付されたお金

歳出 138億457万3千円（前年度比16.8%減）

【目的別決算の内訳】

（単位：千円・%）

区 分	令和5年度		令和4年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率
議 会 費	62,004	0.5	96,786	0.6	△ 34,782	△ 35.9
総 務 費	6,680,918	48.4	8,412,235	50.7	△ 1,731,317	△ 20.6
民 生 費	1,686,221	12.2	2,191,281	13.2	△ 505,060	△ 23.0
衛 生 費	455,671	3.3	731,228	4.4	△ 275,557	△ 37.7
労 働 費	3	0.0	3	—	—	—
農 林 水 産 業 費	229,878	1.7	226,427	1.4	3,451	1.5
商 工 費	273,611	2.0	306,436	1.8	△ 32,825	△ 10.7
土 木 費	502,603	3.6	1,101,158	6.6	△ 598,555	△ 54.4
消 防 費	593,868	4.3	460,477	2.8	133,391	29.0
教 育 費	396,826	2.9	298,186	1.8	98,640	33.1
災 害 復 旧 費	57,411	0.4	231,327	1.4	△ 173,916	△ 75.2
公 債 費	182,679	1.3	193,856	1.2	△ 11,177	△ 5.8
諸 支 出 金	2,682,880	19.4	2,343,272	14.1	339,608	14.5
歳 出 合 計	13,804,573	100.0	16,592,672	100.0	△ 2,788,099	△ 16.8

令和5年度 一般会計の主な事業と決算額

■ 総務費

・復興まちづくり支援事業	6,447万7千円
・公共交通運行事業	2,791万6千円
・移住定住支援体制整備事業	4,844万7千円
・中野地区復興産業拠点整備事業	4億2,061万7千円
・双葉駅西地区復興拠点等整備事業	48億8,971万9千円

■ 民生費

・国民健康保険特別会計繰出金	9,830万7千円
・介護保険特別会計繰出金	1億5,981万9千円
・福島県後期高齢者医療広域連合負担金	7,266万9千円
・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業	1億8,243万9千円
・子育て世帯生活支援特別給付金事業	2,235万5千円
・物価高騰こども加算生活支援給付金事業	2,245万円
・町内防犯・防災パトロール事業	2億5,048万9千円
・ICTきずな支援システム事業	1億4,166万円
・復興支援員事業	6,882万7千円
・町内戸別巡回事業	3,767万9千円
・双葉町次世代支援補助金事業	2,530万円

■ 衛生費

・中間貯蔵施設に関する地権者支援事業	1,606万6千円
・医療施設管理運営事業	2,851万4千円
・双葉地方水道企業団負担金	1億22万4千円

■ 農林水産業費

・営農再開支援事業補助金	7,532万3千円
・営農再開支援水利施設等保全事業	1,709万4千円
・ため池放射性物質対策事業	5,115万円
・イノシシ等有害鳥獣捕獲事業	803万円

■ 商工費

・企業誘致推進事業	2,499万2千円
・産業交流センター維持運営事業	9,921万5千円
・操業奨励金	843万3千円
・産業交流センター商業施設雇用補助金	955万4千円
・商業施設整備事業	2,922万1千円

■ 土木費

・橋梁長寿命化・補修事業	5,901万9千円
・前田・長塚線整備事業（前年度繰越分含む）	3,214万2千円
・公共下水道事業特別会計繰出金	1億8,171万7千円

■ 消防費

・双葉地方広域市町村圏組合負担金	1億2,610万円
・消防施設整備事業（前年度繰越分含む）	1億7,162万2千円
・防災行政無線整備事業（前年度繰越分含む）	2億2,374万6千円

■ 教育費

・要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	2,370万8千円
・有形文化財登録事業補助金	6,866万8千円

■ 災害復旧費

・公共土木施設災害復旧事業	5,741万1千円
---------------	-----------

■ 諸支出金

・財政調整基金積立金	7億2,477万8千円
・公共施設整備基金積立金	1億4,501万1千円
・東日本大震災復興基金積立金	4億4,658万7千円
・福島再生加速化交付金基金積立金	7,343万9千円
・情報通信システム等整備基金積立金	2億円
・電源立地地域対策交付金施設整備基金積立金	6,636万2千円

令和5年度決算における主な財政指標等

■ 地方債と基金現在高

地方債現在高

会計区分	5年度末現在高
一般会計	10億7,836万円
公有林整備事業特別会計	164万2千円
公共下水道事業特別会計	4億2,160万3千円
合 計	15億160万5千円

基金現在高（一般会計）

基金の種別	5年度末現在高
積立基金	
・財政調整基金	38億1,860万4千円
・減債基金	66万7千円
・その他の特定目的基金	624億8,103万1千円
小 計	663億30万2千円
定額運用基金	
・土地開発基金	2億2,070万円
・災害援護特別資金貸付基金	5,000万円
・その他の定額運用基金	1億589万円
小 計	3億7,659万円
合 計	666億7,689万2千円

■ 主な財政指標

◎ 財政力指数 0.69（3カ年平均）

普通交付税の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3カ年の平均値で、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

◎ 経常収支比率 64.1%

人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に、地方税、地方交付税などの一般財源がどの程度充当されたかをみる指標で、この比率が低いほど、財政構造に弾力があるとされています。

令和5年度 特別会計歳入歳出決算の状況

■ 特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計で、双葉町には以下の会計があります。

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険	13億2,100万2千円	12億4,988万1千円	7,112万1千円
公有林整備事業	165万7千円	165万7千円	—
公共下水道事業	3億4,378万円	2億5,348万8千円	9,029万2千円
介護保険	10億4,030万1千円	9億9,077万9千円	4,952万2千円
後期高齢者医療	2,955万7千円	2,885万4千円	70万3千円

（千円未満の端数処理により、円単位と一致しない場合があります。）

健全化判断比率及び資金不足比率について報告

令和5年度決算に基づく財政の健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりです。

1. 健全化判断比率

(単位：％)

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率		将来負担比率
			3カ年平均	単年度	
令和5年度	—	—	3.1	1.88736	—
令和4年度	—	—	4.0	3.53113	—
比率の増減	—	—	▲ 0.9	▲ 1.64377	—

※表中において、実質赤字額、連結実質赤字額がなく、将来負担比率が算定されないため「—」と表示しています。

〔参考〕

早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

(単位：％)

2. 資金不足比率

(単位：％)

区 分	資金不足比率
	公共下水道事業特別会計
令和5年度	—
令和4年度	—
比率の増減	—

※表中において、資金不足額がないため「—」と表示しています。

健全化判断比率及び資金不足比率とは

平成19年度に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全化を示すために定められた指標です。

双葉町では、「実質公債費比率」が高いことから、平成18年度に「公債費負担適正化計画」をスタートさせ、平成21年度には「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「財政健全化計画書」を策定し、実質公債費比率の抑制に取り組んできました。比率の推移としては、平成19年度決算の30.1％（3カ年平均）をピークに、平成20年度以降は地方債残高の抑制努力により比率を徐々に引き下げ、平成22年度決算で早期健全化基準（25％）未満の23.7％となり、平成25年度決算では公債費負担適正化計画より1年前倒して、実質公債費比率が18％を下回る17.1％となりました。令和5年度決算では令和4年度決算から0.9％減の3.1％となりました。

用語の説明

- * 実質赤字比率** 普通会計（一般会計と公有林整備事業特別会計）における実質赤字額の標準財政規模（地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模）に対する比率です。
- * 連結実質赤字比率** 町の全会計を対象に実質赤字額（普通会計・国民健康保険特別会計、介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）・資金不足額（公共下水道事業特別会計）の標準財政規模に対する比率です。
- * 実質公債費比率** 経常的な一般財源に対する普通会計の公債費や公債費に準ずる債務負担行為（請戸川水系県営水利事業負担金等）、公営企業債（公共下水道事業特別会計）への繰出金、一部事務組合（双葉地方広域市町村圏組合、双葉地方水道企業団）への負担金のうち公債費に充てられた一般財源の割合で、過去3カ年の平均を求めたものです。
- * 将来負担比率** 現在かかえている負債が、将来、財政を圧迫する可能性が高いかを示すストック指標で、公営企業、出資法人等を含めた普通会計の実質的負担の標準財政規模に対する比率です。
- * 資金不足比率** 公営企業会計（公共下水道事業特別会計）の資金の不足額の事業の規模に対する比率です。

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

双葉町の自宅にある金木犀^{せい}、銀木犀^{ぎん}がいつもより遅く咲いて、あっという間に散ってしまいました。やはり季節の歯車がおかしくなっているのでしょうか。朝夕の冷え込みも、秋の深まる気配を過ぎて冬支度を思わせる今日この頃です。寒暖差が激しいので、体調を崩さぬよう生活リズムを整えてほしいと思います。

令和4年8月30日の特定復興再生拠点区域の避難指示解除から2年が過ぎました。復興まちづくり計画も、商業施設や、カンファレンスホテルの建築など着実に進められています。新しい学校設置についても、昨年度の教育基本構想をもとに教育基本計画の策定に向けて検討しているところです。これからの新しい学びについて議論し、子どもたちが楽しく学べるスペースづくりや、探求学習を核とした自己実現のできる学びの方法を検討しております。さらには国際理解、異文化交流による多様性のある学びも模索しています。今後、具体的な方向性についても段階的にいろいろな機会を通じてご報告申し上げます。

10月19日、町立学校において「^{もみぢまつり}梅檀祭」を開催しました。総合的な学習の時間で探求した内容をまとめ、聞き手にわかりやすく発表する事ができて表現力が高まっていると感じました。詳細は広報ふたば12月号に掲載されますのでご覧ください。

また、県内外11カ所にわたる町政懇談会でも、まちづくりにおける質問やご意見を頂戴し、新しい双葉町の将来的なビジョンに生かしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

● 新成人チャレンジ事業 “ふるさとを、見よう” プロジェクト

18歳から20歳までの町民の皆さんと一緒に、双葉町の再発見というツアーを企画しました。9月28日、29日の両日、町生涯学習課とふたばプロジェクトにより駅周辺の説明や若手町民との交流会を行うなど、有意義な事業となりました。震災当時、低年齢ということから記憶も少なく、その後も双葉町を訪れる機会が少なかった皆さんも多く、現在の双葉町を実際に見て、知ってもらいたいという思いで企画しました。

今後とも多くの町出身の皆さんに双葉町を訪れていただけるような内容を検討してまいりたいと思います。



● ふたば幼稚園、双葉中学校 見学会

10月5日、6日の両日、解体予定の2つの施設の見学会を実施しました。大勢の卒業生や町民の皆さま、ふたば幼稚園、双葉中学校に勤めていた先生方も参加いただきました。恩師と教え子の再会や、町からの情報を知り県外からの来訪者もたくさんいました。来場者は2日あわせて、ふたば幼稚園が127名、双葉中学校が356名でした。改めて、学校とは地域のコミュニティの場であり、多くの思いが詰まった場所なんだと実感しました。当日の様子は11月15日発行の「ふたばのわ」でご紹介しますのでご覧ください。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

新成人チャレンジ事業 “ふるさとを、見よう” プロジェクト

「愛着がわいて、双葉町がふるさとで良かったと心から思いました」



9月28日と29日、双葉町内において新成人チャレンジ事業“ふるさとを、見よう”プロジェクトを実施しました。今年18歳から20歳を迎える町民を対象に、まち歩きや参加者同士の交流を通じて、ふるさと双葉町を感じてもらうことを目的に町教育委員会が今年から実施する事業で、福島県内外の避難先から20人が参加しました。

参加者からは「同世代の子たちに会えてとても楽しかった」「双葉っていいなと改めて思った」「地元が好き」「県外に住んでいたの地元意識はあまりなかったが、地元だという気持ちが芽生えた」との声もあり、双葉町で2日間を過ごし、ふるさと双葉町を感じてもらうことができました。

9月28日

町役場に集合し、館下明夫教育長のあいさつから“ふるさとを、見よう”プロジェクトが始まりました。4つのグループに分かれた参加者は緊張が見られましたが、自己紹介、アイスブレイクを経て、昼食に地元飲食店“ペンギン”の特製弁当をいただくころには笑顔も見られ、和気あいあいとした雰囲気になりました。

午後は、双葉町についての説明を受け、JR双葉駅周辺や震災当時の様子が残る長塚の消防団第2分団の屯所などを歩いて見学しました。その後バスで向かったふたば幼稚園では、震災当時の物がそのまま残っており、自分の描いた絵や持ち物を見つけた参加者からは「嬉しいような、悲しいような複雑な思いをした」との感想も聞かれました。夜は双葉花火を観ながら“夢ふたば人”の焼うどんをいただき、ホテルアルム双葉に宿泊しました。



館下教育長あいさつ



まち歩き



旧ふたば幼稚園舎見学



東日本大震災・原子力災害伝承館見学

9月29日

朝は海岸を散歩し、その後中野地区復興産業拠点に立地する伊藤物産(株)や浅野燃糸(株)を見学し、「どんな思いで町に会社を設立したのか」「どんな双葉町にしたいか」など事業者の視点から話を聞きました。続いて、町役場へ移動し、伊澤史朗町長との懇談が行われました。伊澤町長は「双葉町はほかの町よりも帰町が遅れましたが、復興の歩みを着実に進めており、今後のまちづくりには若い皆さんの力が不可欠です」とあいさつし、昼食時には各グループを回って一人一人に話しかけながら町の現状や普段の生活などについて参加者と懇談しました。



伊澤町長あいさつ



昼食後は、若手町民との交流会が行われ、町に対する思いや震災時のことなどをお互いに話し合いました。その後は双葉ダルマの絵付けを体験し、思い思いの色で絵付けをした自分だけの双葉ダルマを完成させました。最後は、2日間で感じたこと、考えたことを振り返り、自分の言葉でグループ内にて発表しました。町では、今後も若い世代の町との結びつきを目的とした事業を継続して行います。



若手町民として 左から、加藤奈緒さん、竹原健太郎さん、佐藤葉月さん、伊藤拓未さん、井戸川俊さんが参加しました



浪江町のおむすび専門店えんのお弁当とふたば茶亭（現在はあんこと洋菓子いるか庵）のスイーツをいただきながら懇談しました

**** 双葉花火 ****

9月28日、東日本大震災・原子力災害伝承館周辺において、「双葉花火」が行われました。ふるさとの復興を願い福島県煙火協会が主催し、約1万発の花火が打ち上げられました。双葉町商工会や町観光協会などが出店したおもてなしエリアでは、打ち上げの前から飲食物等の販売に長い行列ができました。

会場には町民や県内外から約4,500人が来場し、双葉の夜空を見上げました。



ふーふーふーふたばフードフェス

10月5日、6日、双葉町産業交流センター前において、「ふーふーふーふたばフードフェス2024」を開催し、日本酒などをはじめとする県産品や常磐もののほか、福島県内外のさまざまなうまいもんを楽しめるブースと、ステージイベントが行われました。町で初めて開催するフードイベントで、町民や県内外から多くの方に来場いただき、5日は約5,000人、6日は約6,000人の来場者がありました。

伊澤史朗町長は開会式で、「このイベントをきっかけに双葉町を訪れた人が、町の現状を発信していただき、交流人口を拡大することが町の復興につながると確信しております」とあいさつしました。

5日のオープニングを飾ったふたば未来学園吹奏楽部の演奏は、雷雨により一時中断し再開後も雨が降る中演奏を続けた皆さんに暖かい拍手が送られました。その後の仮面ライダーガヴショーには多くの子どもたちが集まったほか、お笑い芸人ジョイマンさんのステージがありました。6日は、ものまね芸人ホリさん、山本高広さんのステージやYouTuberびっくえんじえるさんのライブ、もぐもぐさくらさんによる大食いステージがありました。

SNSなどで話題のりんご飴専門店「代官山 Candyapple」など普段味わうことができないグルメには行列が途切れず続き、来場者の笑顔が絶えない2日間でした。



伊澤町長あいさつ



もぐもぐさくらさん



1日目オープニングのふたば未来学園吹奏楽部



2日目オープニングの標葉せんどん太鼓



ジョイマンさん



テーブル席でグルメを楽しむ来場者



びっくえんじえるさん



どのステージも観客が集まりにぎわいました

ふたば幼稚園旧園舎・双葉中学校旧校舎見学会

10月5日、6日、解体を予定している双葉町立ふたば幼稚園旧園舎と双葉中学校旧校舎の見学会を実施しました。震災当時のままの現状を見てもらい、思い出を振り返る機会として一般公開し、卒園・卒業生や教職員のほか、一般の方など約400人が訪れました。

教室や音楽室・図書室などの特別教室の様子、校舎からの眺め等を写真におさめたり、思い出を話し合う場面が見られたほか、同級生同士で誘い合って来た方、現場で友人や恩師と再会して驚きや喜びの聲が上がる場面もありました。

見学会当日の様子を、11月15日発行の「ふたばのわ」で詳しくお伝えします。



恩師の吉田先生と再会



家族の同級生に再会



震災当日卒業式だった3年生の生徒が教室に集まりました

10月5日、駅西住宅集会所において、町内で再開する学校について、町内に居住する住民と学校設置検討委員会委員などが意見交換を行いました。13人の町民が参加したほか、見学会のボランティアとして来町した東京大学の学生・大学院生も加わり、会話をリードして和やかな雰囲気でお互いの話を聞きました。



意見交換の様子

双葉町教育委員の再任

双葉町教育委員として高倉洋尚さん（新山）が再任（3期目）されました。

10月7日、双葉町役場において辞令交付式を行い、伊澤町長が「町内での学校再開や伝統文化の継承など教育行政発展のため引き続きご尽力をお願いします」とあいさつしました。

任期は令和6年10月7日から令和10年10月6日までの4年間です。



大川義秋さん凱旋ソロコンサート

10月12日、「大川義秋 凱旋ソロコンサート～文教の地 双葉の音～」(浅野撚糸(株)双葉事業所主催)が行われました。双葉町出身の箏奏者大川義秋さん(下条)は、国内の権威ある邦楽コンクールで2度も最優秀賞に輝き、国内外で活躍しています。当日は大川さんのオリジナル曲を含めた箏の演奏と、双葉中学校の音楽室から搬出したピアノで「花は咲く」や母校である双葉南小学校校歌などを披露し、会場の浅野撚糸(株)双葉事業所の中庭に集まった満員の観客が美しい音色に耳を傾けました。

伊澤町長や町民も会場に駆けつけ、大川さんの凱旋をお祝いました。



第58回 双葉町町民体育祭



前回優勝の下条行政区から優勝旗を返還



選手宣誓



ボールとさんぽ



キャッチングボールむかで

10月12日、東日本大震災・原子力災害伝承館アーカイブ広場（芝生）で開催した「第58回双葉町町民体育祭」に約180人が参加して、スポーツを通じた交流を行いました。震災前、行政区対抗で行われていた町民体育祭は、震災後いわき市などで「ふたばスポーツフェスティバル」として継続してきましたが、このたび町内で町民体育祭として再開することができました。

町が主催し、NPO法人双葉ふれあいクラブと町スポーツ推進委員が中心となつて、年齢や性別に関係なく誰でも参加できる競技種目となるよう、準備や試行を重ねました。

参加者は、山本敦子さんのエレクトーン演奏に合わせて入場行進し、会場内に入りました。「町民の歌」斉唱のあと、栗田要さんが開会を宣言し、震災前の平成22年度に優勝した下条行政区の作本信一区長が優勝旗を返還しました。伊澤史朗町長が「皆さんと一緒に体を動かし、参加者同士の交流を深めるとともに、スポーツを通じて心身のリフレッシュをはかり、健康増進の一助としてほしい」とあいさつし、来賓の伊藤哲雄町議会議長と星北斗参議院議員、佐々木恵寿県議会議員が祝辞を述べました。

参加者を代表して、新家希花さん、新家碧彩さん、高久田寧々さん、山根さよりさんが「双葉町いっばいに笑顔の花を咲かせ、一生懸命競技すること



初期消火



ボウリング



山本敦子さんのエレクトーン
に合わせて行進しました



玉入れ



宝拾い



優勝した緑チームの皆さん



緑チーム代表に優勝旗を授与



会場にはキッチンカーが
来て飲み物やスイーツの
販売を行い、青空の下で
の昼食を楽しみました。

を誓います」と力強く選手宣誓を行い、全員でラジオ体操を行いました。競技は赤・黄・緑・青・黒の5チームに分かれ、「キャッチングボールむかで」、「ボールとさんぽ」、「初期消火」、「宝拾い」、「ボウリング」と「玉入れ」の6つの種目に汗を流しました。

今年から追加された「初期消火」は、震災前の町民体育祭で恒例だった競技で形を変えて行われ、アイマスクをつけて走る姿に笑い声があふれました。「玉入れ」では青チームが制限時間内に100個全てをかごに入れました。どの競技も全員で参加し、チーム内お互いに応援し結束を強めていました。

結果は、5位が青チーム、4位が黄色チーム、3位が黒チーム、2位が赤チーム、1位が緑チームで、優勝した緑チーム代表の天野錦二さんに伊澤町長から優勝旗が授与されました。

昼は、産業交流センターのペンギン・レストランエフ特製のり弁当とせんだん亭の豚汁が参加者に振る舞われ、昼食後には参加者が輪になってふたば音頭を踊りました。

浜野行政区

総会・懇親会



当地区は町の復興産業拠点となり、地区の面影を探ることが難しくなりつつあるようです。イベントや見学者などが訪れることも多くなりました。

このような中、9月14日にいわき市湯本温泉「吹の湯」において、今年度の総会を開催いたしました。

総会を始める前に、県のまちづくり推進課と相双建設事務所の方々から地区内に造成中の復興祈念公園の概要と工事進捗状況について報告がありました。その後、町復興推進課から公園内のアクティビティエリアの概要について説明を受けました。

総会では、今年度の業務報告（中野墓地跡地や地区内の土地利用、中野八幡神社の状況）、会計報告（地区会計決算、神社・墓地会計決算）を審議し、承認されました。

懇親会には伊澤町長をはじめ、平岩・森副町長がご出席くださいました。美味しい料理とお酒をともにいただきながら、町や地区のあれこれを話題におしゃべりの花が咲きました。

浜野行政区長 高倉伊助

◆◆ 双葉中学校昭和43年度卒同級会開催のご案内 ◆◆

秋も深まり朝夕めっきり冷え込む季節となりました。今年も下記により双葉中学校昭和43年度卒同級会を開催するはこびとなりました。お忙しいことと存じますが、多数のご参加を心よりお待ちしております。

日時 11月22日（金）、23日（土） 1泊2日
集合時間 17時30分（15時より入館できます）
開会時間 18時

場所 ホテル塩屋崎 いわき市平豊間兎渡路 164
☎ 0246-55-5656

会費 20,000円（宿泊者）
 10,000円（同級会のみ）

その他 電車でお越しの方はいわき駅より送迎バスがあります。
 申し込み時に送迎バス利用とお申し付けください。
 送迎バスを利用する方は15時40分までいわき駅北口に集合願います。

申し込み 11月11日（月）まで幹事へ申し込みをお願いします

【幹事】 小林 一美 ☎ 090-1547-9190 作本 信一 ☎ 090-7062-4083

クレー射撃で国民スポーツ大会入賞

9月26日から29日まで、佐賀県射撃研修センターで行われた第78回国民スポーツ大会に、福島県代表チームの監督として小川貴永さん（長塚二）が出演しました。小川さんは、8月の第51回東北総合スポーツ大会（国体東北ブロック大会）に選手として出場し、クレー射撃のスキート種目で本大会の出場資格を得ました。

小川さんが監督をつとめた福島県代表チームは、クレー射撃競技トラップ団体種目で8位に入賞されました。



ノルディックウォーク教室開催のお知らせ

秋の双葉を楽しく歩きませんか？ 4～5 km のコースを2時間程度で歩きます。

日時 11月12日(火) 小雨決行 受付開始：13時30分 出発：14時

集合 双葉町産業交流センター（双葉町大字中野字高田1番地1）

持ち物 汗拭きタオル・飲み物・動きやすい服装・履きなれた靴
お持ちの方はノルディックポール

定員 10名程度（先着順）

申し込み期限 11月8日(金)まで

参加費 無料



ノルディックポールを持っていない方には貸し出します。

当日は、インストラクターからノルディックポールの使い方について説明があります。

【申し込み・問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

双葉町の放射線に関する取り組みについて

双葉町では放射線に関する健康不安などの解消を目的として、町民の皆さまと率直な意見を交換する車座意見交換会を開催しています。

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターの協力のもと、郡山支所にて8月8日に今年度1回目となる車座意見交換会を開催しました。包括連携協定を結んでいる長崎大学の柏崎佑哉先生を講師に招き、放射線の基礎知識や健康への影響の講話を通して、外部被ばくと双葉町の空間線量率や内部被ばくとホールボディ・カウンタについて学びました。その後、参加者からの意見や質問に対して柏崎先生が丁寧に回答しました。

講話で説明があったホールボディ・カウンタは、体内の放射性物質から出る放射線を計測する機器のことで内部被ばくの検査をすることができます。双葉町では今年度も総合健診会場にてホールボディ・カウンタを使用した内部被ばく検査を実施しています（検査は任意となります）。また、健診結果返却会の際にも一部の会場にて実施いたします。このほか、常駐検査も実施していますので双葉町公式ホームページにて詳細をご確認ください。

放射線に関する相談や不安などがあれば健康福祉課健康づくり係へお気軽にご相談ください。

作成協力：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター



意見交換会の様子

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

母子健康手帳で未接種の予防接種を確認しましょう

● 年長児以上の予防接種一覧

麻しん風しん混合(MR)第2期	平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれのお子さん(年長児)
日本脳炎 第2期	9歳以上13歳未満
二種混合(破傷風・ジフテリア)	11歳以上13歳未満

● 接種時の持ち物 母子健康手帳、予防接種予診票

予診票をお持ちでない方

福島県内で受診される方は再発行しますのでご連絡ください。
県外で受診される方は避難先自治体にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131 いわき支所 ☎0246-84-5200(代)

令和6年度

すこやか血管教室（生活習慣病予防教室）のご案内

健診の結果はいかがでしたか？健診は、受けてからがスタートです。

生活習慣病は自覚症状がなく、放っておくと動脈硬化などが進み、さまざまな臓器に重大な合併症が生じる危険性があります。

ぜひこの機会に、血管をすこやかに保つためにも、日常生活ですぐに実行できる方法を一緒に学び、生活習慣を見直すきっかけとしませんか？



	内 容	講 師	持ち物
第1回	生活習慣病とさようなら！ 日々の食生活を見直そう！（講話）	管理栄養士 保健師	・筆記用具 ・飲み物 等 （随時案内します）
第2回	お口から始める生活習慣病予防（講話と実習）	歯科衛生士	
第3回	脱メタボ！運動習慣を続けるコツ（講話と運動） ※体組成測定	理学療法士	
第4回	栄養バランスでメタボ予防（調理実習）	管理栄養士	

●会場・日程

エリア	開催日（令和7年）		会 場	
双 葉	第1回	1月10日（金）	双葉町産業交流センター （双葉町大字中野字高田1-1）	1階中会議室
	第2回	1月17日（金）		1階大会議室
	第3回	1月24日（金）		
	第4回	1月31日（金）	浪江町ふれあい交流センター （浪江町大字権現堂字矢沢町40-1）	1階調理室
い わ き	第1回	2月 7日（金）	泉公民館 （いわき市泉町4丁目13-11）	2階研修室
	第2回	2月14日（金）		
	第3回	2月21日（金）		
	第4回	2月28日（金）		2階実習室
郡 山	第1回	3月 7日（金）	大槻ふれあいセンター （郡山市大槻町中前田56-1）	1階研修室1・2
	第2回	3月14日（金）		
	第3回	3月21日（金）		1階大ホール
	第4回	3月28日（金）		1階実習室

●時 間 9:30～11:30（第4回のみ 9:30～12:00）

●定 員 10～15名程度（全4回コース受講可能な方を優先）
※全回参加が難しい方も、気軽にご相談ください。

●申込み 各エリア開催日の2週間前まで

★感染症防止対策として、状況に応じてマスクの着用等をお願いします。

【申し込み・問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

福島県12市町村移住支援金の申請はお済みですか？

福島県では、県外から双葉町への移住者に対して、移住支援金を交付しています。

支援金

・単身 最大120万円 ・世帯 最大200万円（一定の要件を満たす場合）

※子育て加算 令和5年4月1日以降に、東京圏（条件不利地域を除く）から、18歳未満の世帯員と一緒に移住する場合、18歳未満の世帯員1人当たり最大100万円が加算されます。

主な要件

- ・双葉町に住民票を移す直前に、連続して3年以上福島県外に在住していた方
- ・仕事上の異動や出張ではなく、自らの意思で双葉町に令和3年7月1日以降に転入した方で、その後5年以上継続して居住される方
- ・就業している方（週20時間以上の無期雇用）、もしくは自ら事業を営む方で、自らの資金で双葉町内に住居を確保している方

申請期間

- ・令和6年度の申請期間は、令和7年1月31日（金）まで（申請期間は転入後3カ月以上、1年以内です）

詳しくは、福島県のホームページ（福島県12市町村移住支援金のお知らせ）をご覧ください。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11050a/fuku12-ijushienkin.html>

【問い合わせ先】 福島県12市町村個人支援金コンタクトセンター ☎0570-057-236

「Out of KidZania in ふくしま相双 2024」を開催します！

本イベントは、福島ロボットテストフィールドをメイン会場として、職業体験プログラムを実施するほか（事前申し込みは終了）、イノベコーナーにて、事前申し込み不要・無料でロボットの实演や操作体験を楽しむことができます。

なお、職業体験プログラムについては、キャンセル等で空きが出た場合、メイン会場において当日申し込みも受け付けております。ぜひ、お越しください。

日時 11月9日（土）、10日（日） 10時～16時

場所 福島ロボットテストフィールド ほか

※詳細は右記URL またはQRから <https://outofkidzania-fukushimasoso.jp/>



【問い合わせ先】 福島県相双地方振興局 企画商工部 地域づくり・商工労政課 ☎0244-26-1142

年金事務所からのお知らせ

◆11月30日（いいみらい）は「年金の日」です!!◆

ご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録からさまざまな条件を設定した上で、年金見込額の試算をすることもできます。



詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。

○日本年金機構ホームページ（ねんきんネット） https://www.nenkin.go.jp/n_net/



双葉町のためにできること 町立小学校の取り組み紹介

双葉南・北小学校の5年生は、総合的な学習の時間に、「双葉町のためにできること」をテーマに探究活動が続けてきました。今年5月の双葉町見学を通して、双葉町を盛り上げるために「町のオリジナルキャラクターを作りたい」という声が、児童から上がりました。児童たちは、試行錯誤しながら、2つのキャラクターを作り上げました。そして全校児童に投票してもらい、キャラクターを決定しました。それが、富士田俊さんが描いた「ふわ丸」です。双葉町のブロッコリーがもっと有名になるように、そして、町全体に活気が戻るように、という願いが込められています。さらに、ONE 福島さんにご協力いただき、手描きのイラストをデジタル化していただきました。今後は、ふわ丸をモチーフにしたグッズを手作りしたり、せんたん梅檀祭やふるさと創造学サミットで発表したりして、PRしていきたいと思っています。5年生のこれからの活躍が、とても楽しみです。（5年担任 村岡 悠紀）



ふわ丸



ブロッコリーのドーナツ

9月19日、双葉南・北小学校の6年生が総合的な学習の時間に、ブロッコリードーナツを作りました。双葉町で生産・出荷しているブロッコリーを使った特産品を作りたいと、試作を重ね完成しました。

当日は、ブロッコリー生産者の木幡治さん（羽鳥）に学校に来てもらい、一緒に試食しました。ブロッコリーは、歯ごたえや味が残るように大きめに切って生地に混ぜ、オーブンで焼きました。木幡さんは「美味しかった。12月に収穫するブロッコリーを使ってぜひ作ってもらいたいです」と話しました。



当日の様子を町立小学校のブログで詳しく紹介しています。

ふたば幼稚園だより

ふたば幼稚園での日常の様子をお知らせします。

手作りゲームで交流活動



「身近なものを使っの製作活動」で、ピンポン玉を使ったゲームを作りました。お菓子の箱や筒形の缶をテーブルに並べ、ピンポン玉を転がして狙ったところへ入れます。テーブルの下に落ちると魚に食べられたり、箱に入ってもゲームオーバーの場所があったり、一筋縄ではクリアできないゲームです。園児がトラップを考え、試しては修正し、最後まで頑張って作り上げました。先生方も挑戦しましたが、なかなかゴールできずに悔しがっていました。小学生にも招待状を送り、休み時間に遊びに来てもらい楽しくにぎやかに交流しました。

【問い合わせ先】 ふたば幼稚園 ☎ 0246-88-8084

子育てサロン実施中です！

ふるさと双葉の歴史・文化 第7回 文集に見る昭和30年代の双葉町

令和4年、双葉北小学校の卒業生の方から生涯学習課に、『母子像』という文集が寄贈されました（写真参照）。

『母子像』は北小学校で作成されていた児童による文集です。いつから作成が始まったのかは不明ですが、寄贈された第四号と第五号が昭和37年（1962年）の作成であることから、昭和30年代後半に創刊されたと考えられます。

『母子像』を読むと、テレビの話題がよく出てきます。テレビが一般家庭に普及していったのは昭和30年代後半からです。そのため、当時のテレビはまだ珍しいものであり、所有者の家に近所の人々が集まることもよくあったようです。

「ぼくの家に三月頃にテレビを入れた。（中略）すもうなどがある時は、近所の人たちがテレビを見に来る。その人たちは、世けん話、自まん話などを、しゃべりながらテレビを見ているので、うるさくていられない。」（『母子像』第五号29ページ）

また、現在の国道6号の工事の様子について書か

れた「だんがんどうろ」という題の文章もあります。

「このだんがんどうろのため、はたけや田んぼがなくなり、おひやくしょうさんはこまるでしょう。けれども、よいだうろができて、日本の国も、町もみんなの人が、べんりになってよくなることと思います。」（『母子像』第五号18ページ）

『母子像』は、児童にとって身近な出来事や、学校生活を送るうえでの抱負などが書かれています。その中には、このような時代の空気を反映した内容も随所に見られました。

北小学校の卒業生の方で、こちらの文集をお持ちの方、あるいは情報をお持ちの方は、生涯学習課までご連絡ください。



▲『母子像』第四号・第五号

生涯学習課 ☎ 0240-33-0206

双葉町社会福祉協議会

～ 11月 健康運動教室・サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2 階第 6 会議室 (郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1)	①毎週水曜日 ②毎週木曜日 のどちらか	13:30 ～ 15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター 1 階多目的室 (福島市仁井田字八ツ割川原 3)	11月12日(火)		
双葉町南相馬連絡所 2 階大会議室 (南相馬市原町区青葉町 2-62-2)	毎週水曜日 ※ 11/20 を除く		南相馬出張所 ☎ 080-5730-1166

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
富岡町役場いわき支所多目的集会施設 (いわき市平北白土字宮前 8)	11月19日(火)	10:00 ～ 13:00	本部事務局 ☎ 0246-84-6725
双葉町産業交流センター大会議室 (双葉町大字中野字高田 1-1)	11月20日(水)	10:30 ～ 12:00	双葉町地域包括支援センター ☎ 0246-84-6729
県営泉本谷団地集会所 (いわき市泉町本谷字八合 7-1)	11月21日(木)	10:00 ～ 13:00	本部事務局 ☎ 0246-84-6725
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原 313)	11月26日(火)	10:00 ～ 11:30	郡山事務所 ☎ 024-973-5291

つながる! ガーデンコンテスト

お気に入りの花壇に投票をお願いします

本コンテストは、一般社団法人ふたばプロジェクトが実施する「ふたば、ふたたび☆ガーデンプロジェクト」の取り組みとして、双葉町内を花で明るく彩り、住民同士、住民と企業、企業と企業の新たなつながりを創出することを目的に、町内立地企業で働く方と町内居住者を対象に開催します。

今年度は総勢14チームが参加しています。11月16日から思いあふれる各チームの花壇写真を産業交流センター1階に展示いたしますので、皆さまに足を運んでいただき、投票をお願いいたします。

● **花壇の写真展示と投票受付期間** 11月16日(土)から12月1日(日)まで

● **場所** 双葉町産業交流センター1階

※福島県内外各地で実施するプランターへの花植え活動の際にも参加者の皆さんによる投票をお願いします。

11/11(月) 茨城県つくば市

11/12(火) 埼玉県加須市

11/19(火) 郡山市・白河市

11/20(水) 宮城県仙台市

● **表彰式(予定)** 12月19日(木) 旧双葉駅舎



【問い合わせ先】 一般社団法人ふたばプロジェクト ☎0240-23-7637

双葉町心の復興事業補助金の募集について

地域のつながりに満ちた豊かな生活と東日本大震災以前の町のにぎわいを取り戻すため、「双葉町心の復興事業」を行う団体に対し、補助金を交付します。

対象事業 被災者の主体的な参画が見込まれる事業のうち、以下のいずれかに該当する事業

1. 地域コミュニティの再生及び新たな構築に向けた事業
2. 町民の心のケアや生きがいにづくりに向けた事業
3. 震災の風化防止や地域活性化に向けた事業

募集期間 9月18日(水)～11月20日(水)

事業期間 交付決定日～令和7年3月31日

提出方法 電子媒体にて、双葉町復興推進課にメールで提出

町公式ホームページ
QRコード



詳細につきましては、町公式ホームページ(双葉町心の復興事業補助金について)をご覧ください。<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/10991.htm>

【問い合わせ先】 復興推進課 ☎0240-33-0127

火災予防運動のお知らせ

11月9日から15日までは「全国火災予防運動週間」、また11月9日は「119番の日」です。以下のとおり、火災予防運動を実施しますので、町民の皆さまのご参加をお待ちしています。

内 容 浪江消防署による講話
消火栓を使った放水体験

日 時 11月9日(土)
10時から12時まで

場 所 駅西住宅集会所 ※ 駅西住宅住民の方以外の皆さまもご参加ください。

【問い合わせ先】 駅西住宅管理組合 國分 信一 ☎090-4045-4742

消防署からのお知らせ

秋季全国火災予防運動 11月9日(土)～15日(金)

住宅火災の原因トップ3

1

こんろ



火から目を離さない。こんろ周りに燃えやすい物を置かないことが大切です。

2

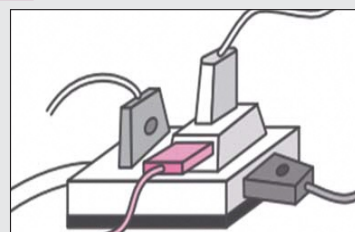
たばこ



寝たばこは危険です。たばこが原因で亡くなる方は少なくありません。絶対にやめましょう。

3

電気機器

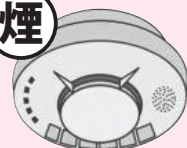


電源タップの定格容量を守りましょう。定期的な掃除は、トラッキング現象の予防になります。

火の取り扱いに注意して、住宅火災を減らしましょう。

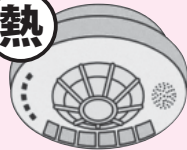
住宅用火災警報器の種類

煙



煙式は、各寝室と寝室がある階の階段上部に設置する必要があります。

熱

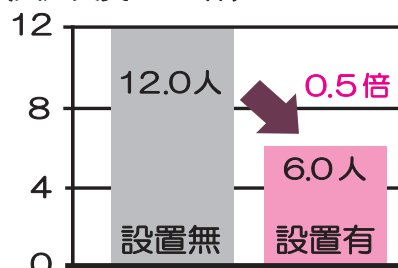


熱式は、台所などの煙や湯気が発生しやすい場所に適しています。

10年を目安に交換しましょう!!

住宅用火災警報器設置の効果

(人/火災100件)



(死者数が半減)

＜住宅火災100件当たりの死者数＞
(総務省消防庁の資料より)

住宅用火災警報器で家族の命を守る。

火事と救急は119番 <消防署連絡先>

・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・葛尾出張所 ☎0240-29-2119



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

高校生と保護者のみなさまへ 「高校生就職応援ナビ」

公式LINE友だち募集中！

最新情報を見てみよう!! 登録はこちらから ➡



◆ “福島で働きたい” 高校生必見！

就職の準備に役立つ情報をお届けします！

魅力的な企業の情報が満載！

掲載企業を拡大中！

■ 「高校生就職応援ナビ」で何がわかるの？

・どんな企業なのか

・どんな仕事なのか

・職場の雰囲気、先輩社員の声など

高校生の保護者のみなさまへ 「お子さまの就職の準備に！」

【参加無料】 お子さまの就職に向けた準備を進めてみませんか！

どんな企業なのか、どんな仕事なのか、働く環境はどうかなど、気になることが直接聞けます！



● 日 時… 11月28日(木) 【第1部】 12時30分～13時50分 16社

【第2部】 14時10分～15時30分 16社

● 会 場… 福島ロボットテストフィールド（南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番）

● 参加企業… 相双地域の企業 全32社（企業の詳細はホームページをご覧ください）

● 参加方法… 電話（☎ 024-524-2121）、ホームページから予約。または当日参加。
予約をおすすめしております。詳細はホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口（福島市中町4番20号 エスケー中町ビル202号）

☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125



令和7年度入校 陸上自衛隊高等工科学校生徒採用案内



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり学生を募集します。

募集項目	陸上自衛隊高等工科学校生徒（一般）
応募資格	令和7年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子 （中学校卒業または中等教育学校の前期課程修了者） （令和7年3月中学校卒業または中等教育学校の前期課程修了見込みの者を含む）
募集人員	令和7年度入校 約230名
受付期間	10月1日～令和7年1月16日（締切日必着）
試験期日	第1次試験：令和7年1月25日または1月26日のいずれか指定された日 第2次試験：令和7年2月13日から2月16日までの間の指定する1日

受験会場、試験内容、合格発表など詳細は相双地域事務所にお問い合わせください。

受験案内を相双地域事務所で配布しています。



【申し込み・問い合わせ先】 自衛隊福島地方協力本部 相双地域事務所

〒975-0033 南相馬市原町区高見町1丁目142-2

☎ 0244-23-4712



環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

● 特定帰還居住区域の被災家屋等の解体申請について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域（鴻草、渋川、長塚、寺沢、松倉、上羽鳥、下羽鳥、目迫、水沢、前田、新山、細谷、山田、松迫、石熊の各一部※）及びその周辺に位置する建物の解体の申請を受け付けています。解体を希望する場合は、下記の解体申請の受付窓口にご相談ください。

※所有建物の住所が区域範囲内かどうか確認したい方は下記の受付窓口までお問い合わせください。

※環境省が除染した家屋等は環境省による解体の対象にはなりません。解体の意向がある場合は、解体前に除染工事を行わないでください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請は2023年8月31日をもって締め切りました。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（2024年度環境省業務受託業者）

<場 所> いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟（双葉町いわき支所の隣）

<受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）

<連絡先> ☎ 0120-773-275（フリーダイヤル）

片付けごみについて

● 特定帰還居住区域の片付けごみの個別回収について

双葉町における家屋について、家屋の片付けによって生じた片付けごみの個別回収を行っております。

【片付けごみ回収申込先】 双葉町片付けごみサポートセンター

<受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日及び年末年始を除く）
（※FAXによる受付は24時間行っております。）

<連絡先> 株式会社 丸東（2024年度環境省業務受託業者）
☎ 0120-115-261（フリーダイヤル） FAX: 0120-115-271

※事業系廃棄物及びすでに避難指示解除された地域の片付けについては、片付けごみサポートセンターでは受け付けておりません。

中間貯蔵施設について

◇ 中間貯蔵施設見学会について

▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。

11月は、15日（金）、16日（土）を予定しています。

見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎ 0240-25-8377）までお願いします。（URL）https://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇ 輸送について

中間貯蔵施設双葉工区への搬入状況は下記のとおりです。

2024年度は、これまでのところ双葉工区への除去土壌等の搬入は実施していません。

（2015年から2023年度末までの累計は3,923,266m³）※9月30日現在

◇ 放射線モニタリングについて

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<https://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

第36回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が、11月17日（日）しらかわカタールススポーツパーク陸上競技場から福島県庁前までの16区間、96.3kmのコースで繰り広げられます。皆さまの温かい声援が大きな励みになります。ふるさとの思いをのせて双葉町のタスキをつなぐ選手の皆さんへの応援をよろしくお願いします。

監督：白土 直裕 コーチ：吉田 一弘、佐藤 剛（敬称略） ゼッケンNo.は **40** です。

選手やコースなど詳細は同封している「双葉ふれあいクラブ」広報紙をご覧ください。

第2回 ふたば・こおりやまふれあい祭り

～ 双葉郡と郡山の住民交流イベント～

日時 12月14日（土） 10時～15時

会場 ビッグパレットふくしま 1階 コンベンションホール
郡山市南二丁目52 ☎024-947-8010

内容 手芸品等の展示・販売、駄菓子販売、焼き菓子販売、
フラワーアレンジメント、ネイルアート、
ミニチュアフード、ビーズアート等のワークショップ、
マジックショー、バルーンアート

郡山市と双葉郡のイメージキャラクターも登場。

お年寄りでも、お子様でも楽しめる内容となっております。



昨年開催した「ふたば・こおりやまふれあい祭り」の様子

【問い合わせ先】 ふたば・こおりやまふれあい祭り事務局 ☎024-983-1157



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

彼岸花を愛でる会

9月28日、双葉町細谷から川俣町山木屋に移植した彼岸花を愛でる会を、双葉町民15人参加し現地で開催しました。

肝心の彼岸花は、開花が遅れて少ししか咲いてみませんでしたが、蕾はいっぱいで次の土曜日が満開、見頃になると思います。

当日は暑くもなくさすがの猛暑も遠のき、秋の気配が漂う高地の川俣町山木屋で参加者が芋煮を食べながらの談笑が弾みとても良い再会、交流の一日となりました。

大橋 庸一（細谷）



10月5日には満開になりました

県南双樹会 研修旅行

9月19日、20日に研修旅行を実施しました。初日のお昼は程よいコシと、喉越しなめらかな田舎そば、酒田山居倉庫・庄内米歴史資料館、湯野浜温泉で疲れを癒し、食後は皆さんでカラオケを楽しみました。

2日目は、日本一のクラゲ展示館とアシカショー、庄内観光物産館、芋煮など山形郷土料理を堪能し、南陽のぶどう狩りをしました。土砂降りの出発でしたが、何とか天候にも恵まれ、自然や食に秋を感じ、楽しく親睦を深めることができました。

県南双樹会 小野田睦子



人のうごき9月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
若松 龍虎	9月24日	一颯・優那	三字

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
遠藤タケヨ	97	8月20日	中田
伊澤 恭子	99	8月26日	新山
井戸川新子	78	8月26日	郡山
熊 ヨシコ	96	8月27日	石熊
高野 弘美	98	8月29日	新山
栗田 峰雄	85	9月2日	長塚一
小林 洋子	66	9月6日	長塚二
井戸川俊夫	106	9月6日	中田
長谷川 司	71	9月13日	下条
山下 郁子	89	9月15日	石熊
谷 充	82	9月16日	三字

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0240-33-0125

【文芸】

川柳・一人居の 母に娘の電 週一度
俳句・秋長けて 亡夫亡息子に供いる 芒の穂
短歌・踏切りの 遮断機おりて 振り向けば
車重なり 重なりて待つ
・また来ると 手を振り帰る 帰省の息子
元気で待つと 手振り目潤む
・移り来て 励まし合った 友来たる
月に二度会い 心安らぐ

今泉 禮子（長塚二）

双葉町民の避難状況

（令和6年10月1日現在）

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

・福島県内に避難されている方 3,790人

・福島県外に避難されている方 2,667人

広報ふたば10月号18ページの掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【問い合わせ先】

誤 ○発注者：(株)船橋コンサルタント



正 ○受注者：(株)船橋コンサルタント

編集後記

町内で開催されたイベントが多くありました。フードイベント(ふーふーふたばフードフェス)や双葉花火には県外からも多くの方が双葉町を訪れました。解体前の双葉中学校とふたば幼稚園の一般公開には、多くの卒業生が「卒業以来、初めて」と見学に集まり、同級生や恩師との再会の場面を見ました。写真は新成人チャレンジ事業の参加者が絵付けしたダルマです。震災当時4歳から6歳で、ほとんど初対面だった皆さんが、打ち解けていく様子や双葉町への思いについて話す真剣な表情を見ることができました。印象に残る場面が多くあった今月の町内の出来事が皆さんに伝わりますようにと思います。



今月のベストスマイル



10月5日、双葉中学校で同級生が再会した記念の笑顔です。



連絡先

- 双葉町役場 本庁舎
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ 0240-33-2111
FAX 0240-33-2115
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- いわき支所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ iwaki@town.futaba.fukushima.jp
- 郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- 埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- 南相馬連絡所(午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分)
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- つくば連絡所(月・火・水 午前9時～午後5時)
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

○双葉町公式ホームページ
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○双葉町産業交流センター
公式ホームページ
<https://www.f-bicc.jp/>



○双葉町公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<https://futabanowa.wordpress.com/>

